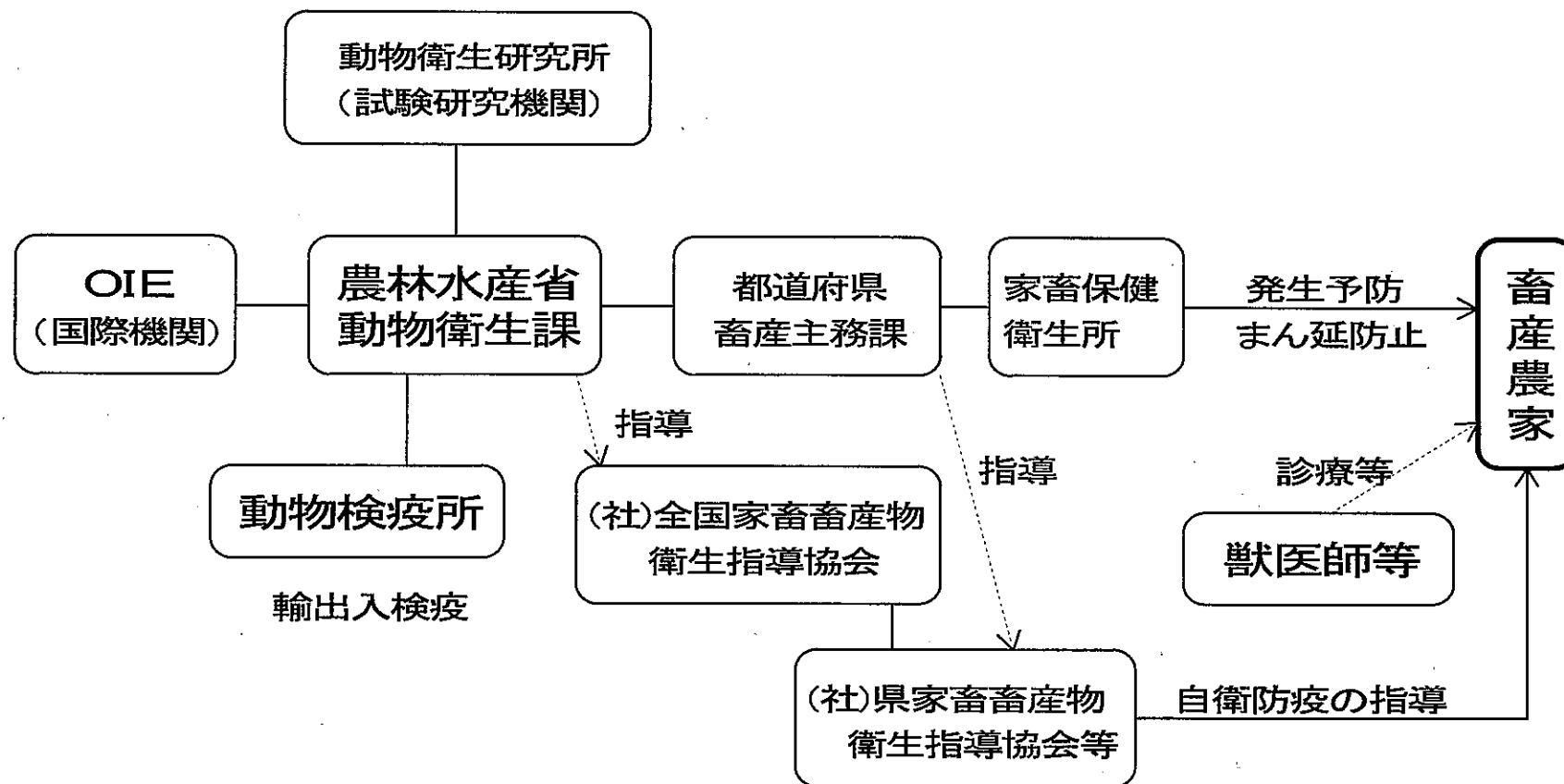


# 我が国の家畜防疫体制の仕組み

- (1) 国は、都道府県、動物衛生研究所等と連携し、国内の家畜防疫に関する企画、調整、指導等を実施するとともに、動物検疫所を設置し、国際機関とも連携して輸出入検疫を実施。
- (2) 都道府県は、家畜防疫の第一線の基幹として家畜保健衛生所を設置し、防疫対策を実施。国は家畜保健衛生所の整備支援、職員の講習等を実施。
- (3) また、全国、地方段階で家畜畜産物衛生指導協会等の自衛防疫団体が組織され、予防接種等生産者の自主的な取り組みを推進。



# 家畜伝染病予防法の概要

## (1) 目的

家畜の伝染性疾病の発生の予防、まん延の防止により畜産の振興を図る。

## (2) 内容

- ・家畜伝染病の発生を予防するため届出、検査等。
- ・家畜伝染病のまん延を防止するため発生時の届出、殺処分、移動制限等。
- ・家畜の伝染性疾病の国内外への伝播を防止するための輸出入検査。
- ・国、都道府県の連携、費用負担等。
- ・生産者の自主的措置。

## ○家畜伝染病予防法の対象疾病

### ○監視伝染病

### ○家畜伝染病

(発生時法に基づく強制的措置)

□蹄疫、ヨーネ病、伝達性海綿状脳症、豚コレラ、高病原性鳥インフルエンザなど26疾病

### ○届出伝染病

(発生状況把握、予防措置指導)

アカバネ病、牛伝染性鼻気管炎、オーエスキー病、豚繁殖・呼吸障害症候群、伝染性気管支炎など71疾病

### ○新疾病

# 動物衛生課:家畜の伝染性疾病の発生の予防、まん延の防止

## 輸出入検査

### ○発生予防

- ・ 衛生管理の徹底
- ・ 発生状況の把握(届出、定期検査等)

### ○まん延防止

- ・ 早期発見・早期届出
- ・ 感染家畜の隔離・とう汰
- ・ 移動の制限

### ○国内への侵入防止等

- ・ 輸入条件についての他国との協議
- ・ 適切な検査の実施
- ・ 動畜産物の輸入禁止・解禁措置等
- ・ 清浄性の確認及び認定要請並びに輸出解禁要請

## 必要とされる科学的データ・技術

疾病・病原体に関する情報(症状、性状、伝染性等)

防疫措置技術(殺処分、ワクチン接種等)

疫学的情報(発生状況、サーベイランス方法等)

その他

検査・診断技術(迅速さ、感度、簡便さ)

# (例) 高病原性鳥インフルエンザの防疫対応

発生

## ① 防疫対応

- ・過去の経験を踏まえ策定された指針に基づき、検査、殺処分、移動制限等を実施。

## ② 感染経路の究明

- ・ウイルス性状の解析
- ・ウイルスの侵入経路の究明
- ・発生原因の推定

専門家からなる感染経路究明チームを設置

## ③ 防疫対応の検証

- ・防疫対応、感染経路究明を通じ得られた知見を整理

関係者の意見を聴きながら専門家からなる委員会を中心に議論

## ④ 防疫指針の改正(必要に応じ)

- ・新たな発生予防対策の策定
- ・新たな防疫対策の策定

指針案についてパブリックコメントを実施

## ⑤ 予防措置の実施

- ・改正された指針に基づき実施

関係者等との意見交換

## 高病原性鳥インフルエンザに関連して 収集している科学データ

- ・わが国における発生状況
- ・諸外国における発生状況
- ・わが国及び周辺国で分離されたウイルスの性状  
(感染性、遺伝子配列等)
- ・疫学情報(発生農場の人・モノの出入り等)
- ・わが国におけるモニタリングの実施状況及びその結果
- ・野鳥の飛来ルート及びウイルス保有状況

# リスク管理型研究(動物衛生課)

先端技術を活用した農林水産研究高度化事業の中でリスク管理型研究を開始

## 17年度

課題名	総括機関名	研究内容	研究期間
口蹄疫を対象とした輸入検疫措置に関する研究	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	我が国は口蹄疫ワクチン接種国・地域からの新鮮肉等は原則、輸入禁止であるが、国際的に、このような地域の清浄性を認める動きがある。このため、ワクチン接種口蹄疫清浄国等からの口蹄疫侵入リスク評価に必要な科学的知見の収集のため、ワクチン接種動物と感染動物との鑑別手法及び鑑別の信頼度に関する調査・分析、ワクチン接種状況も含めた口蹄疫清浄性確認のための評価の手法の開発、各国の検疫措置等の調査・分析を行う。	3

## 18年度

課題名	総括機関名	研究内容	研究期間
豚繁殖・呼吸障害症候群の制御のための飼養衛生管理技術の高度化	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	養豚経営の生産コスト削減に大きな障害となっている豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS)の疫学実態調査並びに伝播・存続様式等を解明する。得られた成果を基にPRRSの制御を目的とした飼養衛生管理技術の確立を図るとともに、本技術による費用対効果の検証を行う。	3
鳥インフルエンザの侵入防止管理システムに関する研究	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	鳥インフルエンザ発生農場の周辺では、防疫の一環として養鶏関連品の流通が制限され、大きな経済損失が発生しているが、外部からウイルスが侵入しにくい飼養形態や衛生管理方法の徹底により高いバイオセキュリティが確保された農場では清浄性の維持が可能と考えられる。本研究では、養鶏施設等におけるハード及びソフト面でのウイルス侵入リスクを調査・評価し、侵入防止のためのリスク管理システムのガイドラインを提案する。	2

## 19年度

課題名	総括機関名	研究内容	研究期間
監視伝染病等の病性鑑定手法の高度化と精度管理手法に関する研究	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	気腫疽、豚増殖性腸炎、ヨーネ病、豚インフルエンザ、アカバネ病、豚サーコウイルス感染症、豚エンテロウイルス性脳脊髄炎、山羊関節炎・脳脊髄炎等、生産現場で問題となっている疾病について、PCR法や免疫組織染色等を活用した高度な病性鑑定手法の適用性や妥当性を検討し、その精度管理手法の検討を行う。また、一定の検査所見等を手がかりとして、診断を検索することが可能なデータベースを作成する。	2
小型ピロプラズマ病リスク低減のための飼養管理技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	牛の小型ピロプラズマ病は多くの放牧場で発生対策がとられてきた原虫病であるが、専用治療薬の製造中止に加え、放牧場へのシカ等の侵入や温暖化による媒介ダニ増加等による発生リスクの増大が懸念されている。本研究では、感染の拡大要因を解析し、代替薬の併用によるリスク低減技術や主要症状である貧血の回避のための栄養管理技術を開発し、当該疾病による損耗防止手法を確立する。	3